

日本福祉大学 山形最上オフィス通信

第26号
2018年10月31日発行



社会福祉学部フィールドワーク

8月31日から9月2日までの3日間、山形県最上町にて社会福祉学部のスカラシップ生1、2年生17名によるフィールドワークが行われました。初日の未明から非常に激しい雨が降り、川の氾濫や床上浸水など多くの被害がありましたが、多くの方々のサポートもあり無事プログラムを実施できました。

オリエンテーションでは、山形県地域同窓会の新関会長も駆けつけ、学生へ歓迎と激励の言葉が送られました。高橋町長にもご挨拶と、最上町の概要と地方創成戦略について講義をしていただきました。

2日目は保健・医療・福祉の総合施設「ウェルネスプラザ」の視察からスタート。高齢者総合福祉センターや介護老人保健施設、高齢者生活福祉センター等、健康福祉課より説明と案内をしていただきました。

視察後、役場へ移動し最上町議会議員の活動について、菅議長・石原副議長・菅議員・宮本議員よりお話をお聞きしました。議員になろうと思ったきっかけや最上町の魅力を熱く語っていただきました。学生は「どんな人を町に呼び込みたいですか」「障害者への支援やサポートはどんな取り組みをされていますか」と積極的に質問し、またなぜ日福のそのコースを選んだのか反対に聞かれる場面もありました。

午後からは、校舎の跡地を活用した地域おこしに取り組んでいる方々からお話を伺いました。

1つ目は、旧みつわ保育所で農家レストランを営む「東法田白川みつわ会」。農産物の販売や予約制で昼食を提供するほか、そばの種まきや収穫祭といった農村体験が出来るイベントを企画し実施しています。

2つ目は、今年3月閉校になった月楯小学校で田んぼアートを実施する「楯っこ田んぼアート実行委員会」。地域住民と一緒に取り組むことに

▼ 学生を激励する新関会長



▼ 高橋町長による町の講義



▼ 議員の皆さんとの懇談



▲ 音頭保存会の皆さんと



▲ ダンスを披露した仮装行列

より地域への関心が高められ、「協働」を実感できる機会がこの田んぼアートです。みつわ会も田んぼアート実行委員会も共に校舎への愛着と誇りを持ち、相互が楽しく交流できることを大切に続けられている活動が、地域資源を活かした地域づくりに繋がっていました。

夕方からは、9月1日・2日と開催された最上祭りにも参加しました。地域の伝統文化である「最上町音頭」の振り付けを教えていただいた音頭保存会の皆さんとともに、最上町音頭パレードに出演しました。賑やかな町中を大勢で踊りながら練り歩く光景は圧巻でした。

最終日、最上祭りの「仮装行列」では、映画「センチメンタル」の主題歌をテーマに息の合ったダンスで盛り上げます。OBの先輩からは温かい声援を、帰省中の在学生と保護者の方にはスタッフとして手伝っていただきました。

3日間という限られた時間ながらも、今回のフィールドワークを通じて参加した学生から「お話を聞いた方々がみんな地域のことを考え前向きに取り組んでいる姿が印象的だった」「町民一人ひとりが主体となって協力し合い、地域が一体になっていると感じた」「地域に対する働きかけについて様々な立場・目線からの話を聞くことが出来て良い経験になった」と感想が寄せられました。

8月26日（日） 岩手県地域同窓会

会場の矢巾町活動交流センター「やはばーく」は日曜日ということもあり、多くの利用者と賑わっていました。
会には総勢12名が参加しました。

総会では、今年3月に初めて開催された「卒業を祝う会」の報告がありました。参加された卒業生からは「美浜に行けず寂しく思っていたので、案内が届きとても嬉しかった」と喜びの言葉をいただいたそうです。

総会後には、【千葉会員の「小川未明文学賞」受賞を祝う会】もあわせて行われました。ちばるりこ（筆名）さんは児童文学作家として活躍され、第26回小川未明文学賞で大賞を受賞されました。

受賞作の『供養絵一心寄り添い人』は応募締切当日まで執筆されていたそうで、ほかにも作品にまつわる様々なエピソードが語られました。
ちばさん、改めて大賞受賞おめでとうございます！



総会の様子



千葉さんへ、鹿野会長より
花束が贈呈されました



青森県地域同窓会で開催された公開講座と総会の様子について、
お便りをいただきましたのでご紹介します。



今年はアートホテル弘前シティを会場に、日本福祉大学相談役・
名誉教授の二木立先生を講師にお招きして「地域包括ケアと地域
医療構想－事実と論点－」というテーマで講演会を実施しました。
同窓会員12名に一般参加者も加えると54名の参加となり、大いに
盛り上がりました。

例年通り講演会后に総会と懇親会を開催しました。
懇親会では、参加者の自己紹介・近況報告の他、二木先生が歌を
披露してくださり、とても思い出深い地域同窓会となりました。



9月1日（土） 青森県地域同窓会



青森県地域同窓会のみなさんと
二木先生（写真中央）

9月16日（土） 福島県地域同窓会



福島県地域同窓会では、できるだけ多くの方に参加していただけるようにと毎年開催地を移しています。

今年度はいわき市の「いわきゆったり館」を会場に、総勢22名が参加しました。同窓生をはじめ、通信教育部の在學生に、そのお知り合いで通信教育部に来年出願予定の方、県外からはなんと三重県にお住まいの同窓生も参加されました。

総会時に行われた自己紹介では、いわき市にお住まいの同窓生から「これまでなかなか参加できなかったけれど、今回は地元開催と知り申し込んだ。同窓生と会えるのを楽しみにしていた。」との声が多く上がりました。

そして総会後には、本学福祉社会開発研究所所長で社会福祉学部の平野隆之教授を講師に迎え「地域共生社会のこれまでとこれから」と題した講演会が行われました。平野教授は自身の活動や、政策を展開している自治体の紹介を交えて、「社会的孤立」「地域共生ケア」「生活困窮者」「権利擁護」の4つの観点から地域共生について説明されました。

同窓生からは積極的に質問が出て、「平野先生、素晴らしい講演でした。今年だけでなく毎年お願いします！！」と、お礼とともに熱いリクエストも送られていました。

引き続き多くの方が懇親会にも参加され、交流を深めました。

来年度は同じく9月に、会津にて開催予定です。お近くの方はぜひご参加ください。



10月6日（土）7日（日） 東北地域ブロック代表者会議

「みちのくYOSAKOIまつり」でいつも以上に街が賑わう宮城県仙台市にて、第2回東北地域ブロック代表者会議が行われました。

1日目の会場となった仙台ガーデンパレスには東北各県より2名ずつ、大学関係者も含め総勢15名が集まりました。

各県の活動報告に東北ブロックでの事業や大学支援事業、山形県で来年度開催予定のセミナーについてなど、4時間にわたり話し合われました。

2日目は東日本大震災の被災地視察として、名取市の閑上(ゆりあげ)地区と仙台市若林区の荒浜地区に向かいました。

閑上では、日和山と慰霊碑、港の朝市を見学しました。慰霊碑の形は、震災で犠牲となられた方が天に昇るイメージと「芽」が上へと伸びる姿を表しており、その高さは到達した津波と同じ8.4mとなっています。

荒浜では、児童・教職員や住民が320人避難した荒浜小学校へ。遠目からは至って普通の校舎に見えますが、窓ガラスが全て無くなった1階や折れ曲がった2階の柵が、押し寄せた津波の威力を物語っています。校舎内で上映されている当時の映像と展示されている写真からは、地震発生から救助に至るまでの緊迫した状況が鮮明に伝わってきました。

たくさんの家が建ち並ぶ街並みを写真で見たと、実際に日和山の高台や荒浜小学校の屋上から現在の景色を見渡すと、言葉で表すことが難しいような様々な思いと涙が込み上げてきます。

ゆりあげ港朝市で行われている活気のある呼び込みや競り、再建され新しい家が並ぶエリアなど、震災を乗り越え一歩ずつ着実に未来へと向かって進んでいく“まち”の姿がそこにはありました。

▼ 代表者会議



▼ 名取市閑上地区の慰霊碑



▼ 仙台市若林区の荒浜小学校



イベント報告 もがみ介護フェア



4

8月5日(日)に最上広域センターゆめりあにて「もがみ介護フェア」が開催され、山形最上オフィスも進学相談ブースに出展しました。

ステージでは学校法人最上広域コア学園 新庄コアカレッジの介護福祉科教務主任 北川康美先生による講演や、介護福祉科学生による介護技術のデモンストレーションが披露され、来場されたみなさんは真剣に聞き入っていました。

また、本学の進学相談のほか求人相談や健康・介護相談ブース、言語聴覚士会によるとろみ体験・脳トレ体験コーナー、作業療法士会によるけん玉体験コーナーなど様々な企画ブースがあり、会場は多くの人で賑わいました。

今回のイベントを通じて、介護をはじめ福祉への理解がより深まったのではないのでしょうか。

当日は雨で足元の悪い中ご来場されたみなさま・本学ブースにお越しいただいたみなさま、ありがとうございました。



▲ 北川先生による講演



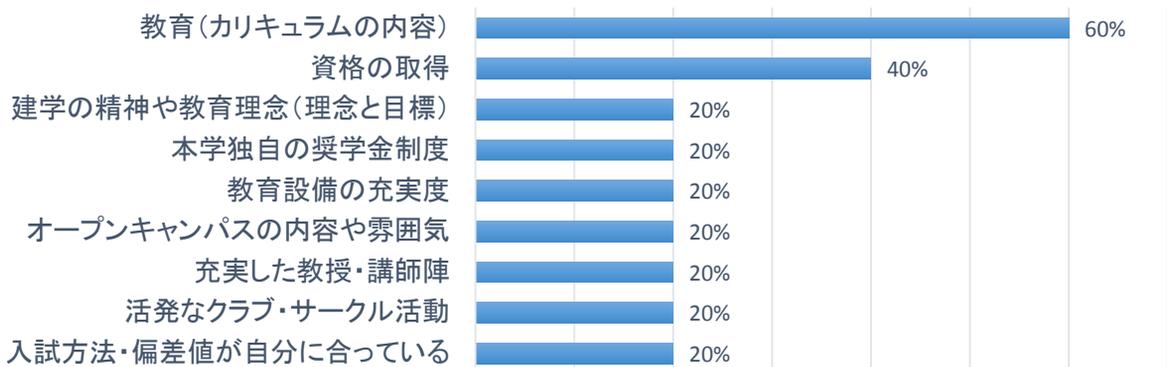
▲ デモンストレーション

おしえて！
先輩

東北出身の在學生に質問するコーナーです。
前回「入学前編」に載せきれなかった部分で、先輩たちの「日福受験を決めた理由」を紹介します。
高校生のみなさんは参考にしてみてくださいね。



本学の受験を決めた理由は何ですか？ 当てはまるもの全て選んでください。



通信教育部 入学説明会のお知らせ

日時：2019年1月27日(日) 11:00～16:00
場所：AER (JR仙台駅より徒歩2分)

予約は不要です。お気軽にお越しください。



地域ブロックセンター Facebook更新中！

全国9ヶ所から、各地域の様々な情報を発信しています。ぜひフォロー＆いいね！お願いします。



日本福祉大学 山形最上オフィス

〒999-6101

山形県最上郡最上町大字向町674 最上町立中央公民館内

電話：0233-43-9232 メール：yamagatabc@ml.n-fukushi.ac.jp

Open：火曜～土曜 10:00～18:00 Close：日曜・月曜・祝日

